

内定者の声

令和7年度入省予定 総合職理工系



はじめに

「内定者の声」を手に取っていただき、ありがとうございます。

本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。ぜひ参考にしてください！

2024年12月 環境省総合職理工系 内定者一同

本冊子の構成

はじめに

第1部 内定者を知ろう！

- ・内定者の基本データ（プロフィール）
- ・志望理由
- ・就活エピソードなど

第2部 公務員試験を知ろう！

- ・内定者の基本データ（試験区分など）
- ・国家公務員試験について
- ・勉強スケジュールや試験対策など

第3部 官庁訪問を知ろう！

- ・環境省の官庁訪問について
- ・内定者の官庁訪問基本データ
- ・内定者による座談会

おわりに



第1部 内定者を知ろう！



第1部 内定者を知ろう！

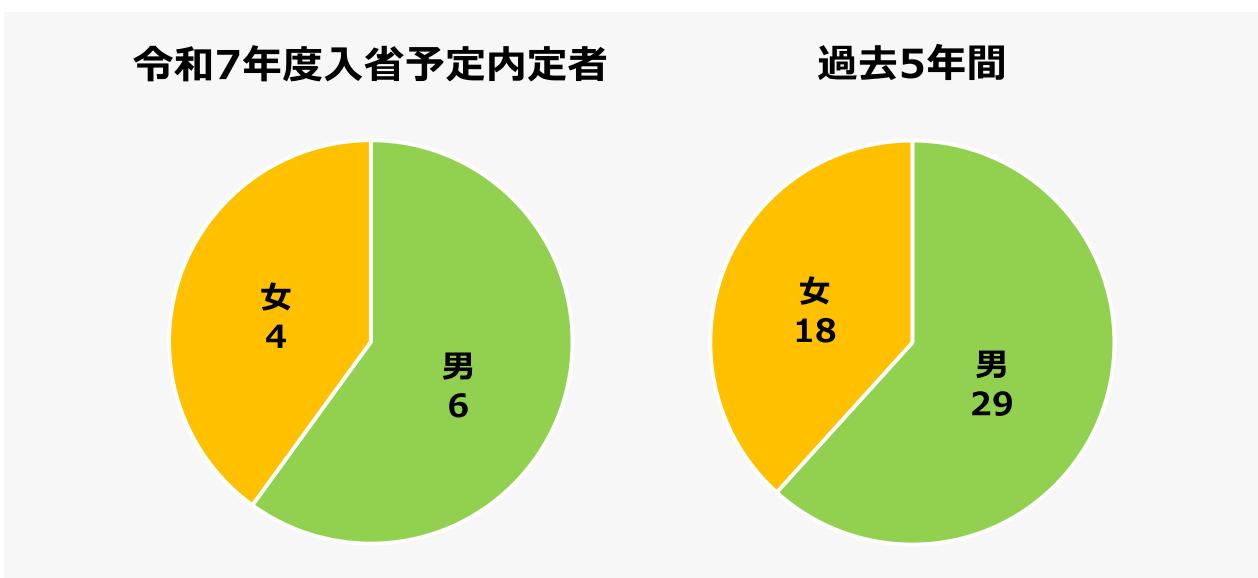
令和7年度入省予定の総合職理工系内定者は、全10名となりました。

第1部では、まず今年の内定者の内訳を過去5年間（令和3年度から令和7年度まで）のデータと併せて概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。

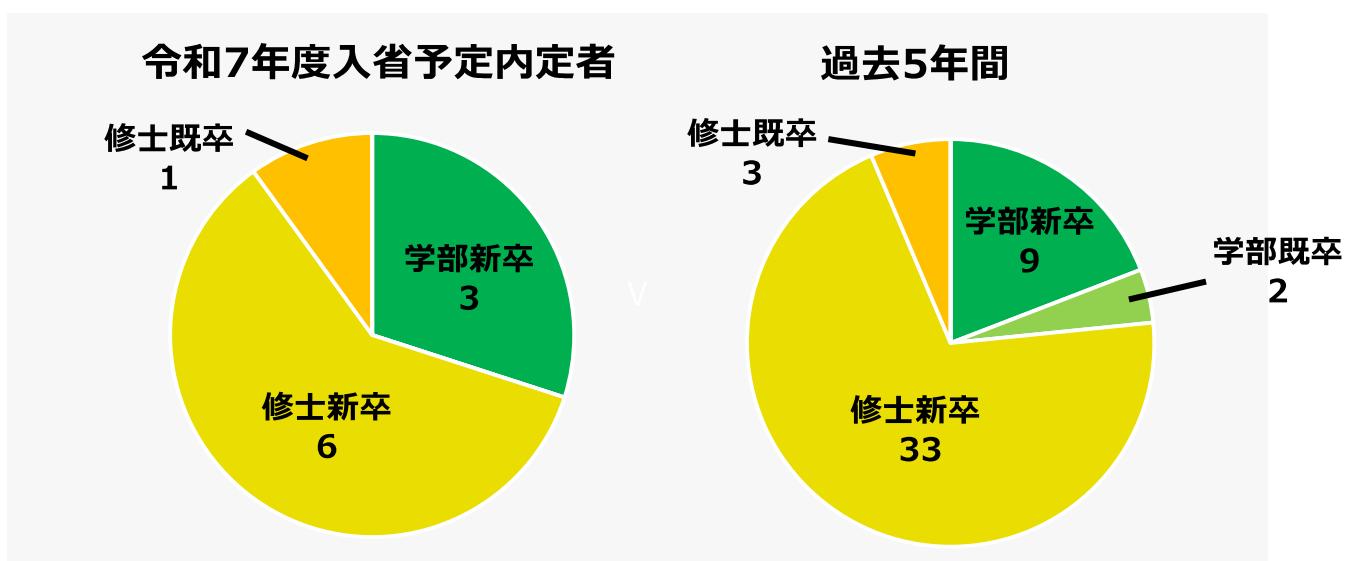
また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。

□ 内定者の基本データ

□ 男女比



□ 最終学歴



次のページからは総合職理工系内定者10名一人一人を紹介していきます。

趣味や研究内容から、環境省を目指した理由まで詳しく載せているので、ぜひ参考にしてみてください！

NO.1 ぱんだ2（24歳・男）

● プロフィール

試験区分	数理科学・物理・地球科学
大学所在地	東京都
学部/研究科	理学系研究科
学科/専攻	地球惑星科学専攻
研究内容	海洋の環境と生態系の相互作用に関する理論的研究
出身地	兵庫県
部活動/サークル	大学祭事務局
趣味/特技	韓国語
好きなもの	櫻坂46



● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	原子力規制庁
インターン参加先	原子力規制庁



修士1年目

運よく春試験（大卒/数理科学・物理・地球科学）、一般職試験（物理）に合格する。

環境政策に関心があったので、勉強もかねて環境省の採用イベントに参加するようになる。それと同時に、博士課程進学に対する抵抗感が強くなっていく。

修士2年目

サークルの先輩が環境省に入省していたことを知り、環境省で働きたいと考えはじめる。

春の官庁訪問で内定をもらう。

ギョーザ5人前を
食べることが得意
です。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

サークル活動を通じて消費者庁が扱うような消費者問題に関心をもち、それについて勉強していた流れで、食品廃棄物の問題に関心をもつようになりました。そこから廃棄物全般へと興味が広がり、廃棄物の適正処理や循環型社会の実現に向けた取組みを推進している環境省に興味をもちました。

併願先との比較

原子力規制委員会は環境省の外局であるため、組織として近い関係にあり、人事交流も多いそうです。また、どちらも科学的知見に基づいた判断が重視されている点が共通しており、その点が魅力的でした。

最終的な決め手

世界の環境政策は、まだ発展途上にあって変革を必要としているので、そこに環境省の将来性を感じました。これほどの大きな課題であれば人生を賭けてもよいと思えたので、環境省を志望することにしました。

● 就活エピソード

国家公務員試験は、官庁訪問に参加する年度に受験する必要があるわけではないので、できるだけ早期に合格しておくべきです。また、選択肢を増やすためにも、余力があれば複数の試験区分で合格しておくとよいと思います。

Success !!

環境政策全般を学習しておいたことで、官庁訪問での面接を有意義な時間にすこことができたと思います。面接でどの政策分野が扱われるかについては直前までわからぬので、全般的に学習しておく必要があります。

Failure ...

環境省の採用イベントで扱われる政策分野は、実際に取り組んでいる分野の一部でしかないため、採用イベントで扱われなかつた分野についてももっと自主的に追加で勉強をするべきでした。

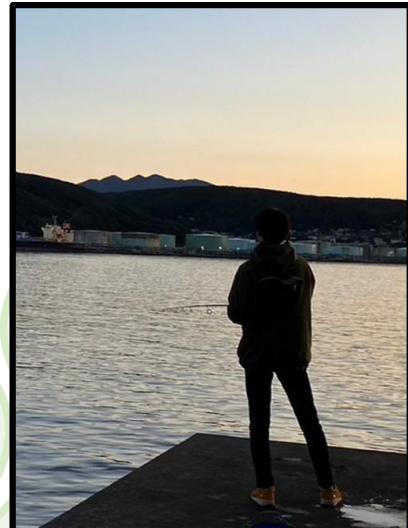
● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

強い「危機感」に基づいて策定された環境基本計画には、環境政策を通じて国民に「希望」をもたらしたいという方向性が記載されています。個別の政策の内容について知ることも大事ですが、根本的な考え方を理解することも大事です。環境正義の概念や環境倫理・環境哲学の諸問題などについて、自分なりに解釈して考察を深めておけば、官庁訪問で提示される様々な問いや議論などに対して、十分な返答ができるようになると思います。

NO.2 緑茶（24歳・男）

● プロフィール

試験区分	工学
大学所在地	北海道
学部/研究科	工学院
学科/専攻	環境創生工学専攻
研究内容	湖沼底泥に含まれるリンのアセスメント技術開発
出身地	京都府
部活動/サークル	演劇サークル
趣味/特技	アウトドア、釣り、旅行
好きなもの	自然、緑、木製のもの



● 就活事情

併願先(民間)	環境系コンサル、環境系メーカー
併願先(他省庁)	国土交通省
インターン参加先	環境省、環境系メーカー



学部4年目

来年度の国家公務員試験受験を見据え、力試しに受験したところ運よく合格できた。大学院進学後は研究を軸にしつつ、官庁訪問対策を行った。

修士1年目

環境系企業のインターンに参加しつつ、福島や水俣などを実際に訪問し、環境省への志望度を高めた。

修士2年目

環境省が主催する福島未来志向プロジェクト「チャレンジアワード2023」に参加し中間貯蔵施設や帰還困難区域の実態を見学した。環境省に内定。



気付けば身の回りのものが緑と茶色になってきました。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

中学3年生の頃に参加したカンボジアへのボランティア研修で発展途上国の現状を知り、日本の豊かな環境資源や高い生活水準を次世代に引き継ぐことに貢献したいと思い、国家公務員を志望するようになりました。また、大学で湖沼の環境アセスメント技術開発を行っており、深く関連する環境省を志望しました。

併願先との比較

大学で所属している研究室が高度下水処理技術の研究を主に行っているため、下水道分野つながりで国土交通省を併願しました。ただ、自らの研究が環境省の政策分野であったことと、インフラ関連に興味があるわけではなかったので、環境省を第一志望とし、国土交通省を第二志望としました。

最終的な決め手

中学3年時から湖沼などの水環境保全に興味を持ち、それをきっかけに環境問題や環境保全に携わりたいと考え今につながるので、環境を第一に考え働くことができる環境省こそ自分が一番入りたい場所だと簡単に決断することが出来ました。また、福島復興の重要性を肌で感じることができたのも大きかったと思います。

● 就活エピソード

しっかりとした軸が環境分野にあり、それを信じて就活を進めることができたのはよかったです。また、環境省の政策に関連する場所に積極的に訪れ、志望度を高めることができたのも内定につながったと思います。

Success !!

環境省が主催する説明会に積極的に参加して、その都度感想をしっかりと残し、官庁訪問の前々から政策に関する自分の意見を深めていたのはよかったです。これが一番官庁訪問に役立つと思いました。

Failure ...

我が家が北海道にあるので対面で行きたいイベントでも行けないことが多い、仕方のないことではありますがもっと職員の方と対面で会って話したかったなと思います。

● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

官庁訪問では、今まで自分が何を思ってどういう行動をしたかや、環境問題の現状を知って自分がどういったところに問題を感じ、それに対し自分はどう考えているのかを事前にまとめて望むといいと思います。そして、なぜ環境省に入省したいのかも一度振り返って考えて、その熱意を官庁訪問にぶつけてください。そうすればきっと相手にも伝わります！6月まで就活が続きしんどくなると思うますが、折れずに頑張ってください！

NO.3 葉っぱ（24歳・男）

● プロフィール

試験区分	数理科学・物理・地球科学
大学所在地	愛知県
学部/研究科	環境学研究科
学科/専攻	地球環境科学専攻
研究内容	モンゴル放牧地における植生状態と家畜行動の相互作用の分析
出身地	福島県
部活動/サークル	卓球部、環境意識啓発の学生委員会
趣味/特技	漫画、散歩、卓球
好きなもの	NARUTO & BORUTO



● 就活事情

併願先(民間)	環境系コンサル
併願先(他省庁)	原子力規制庁、経済産業省
インターン参加先	環境省

修士1年目

研究で手一杯で就活はせず。ぼんやりと就職したい業種や業界などを考える。環境省が自分の希望に一番近いだろうなと思いはじめ、環境省を主軸に自分のやりたいことをなんとなく考える。

修士2年目

環境省のインターンやイベントに予定が合う限り参加。他の業種や業界をなんとなく見てみるとほとんど魅力を感じず、また研究に手一杯でそれ以外のこととは特にせず。

修士3年目

公務員試験と官庁訪問を経て環境省に内定をいただいた。



最近は縁あって海外に行く機会が多いです。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

具体的なきっかけはありませんが、森林などの自然環境が破壊され、今ある風景が失われていることが嫌だなあという思いを昔から持っていたため、環境保全に関連した進路をとってきました。その中でも、環境省は環境行政のトップとして環境保全の最前線に立った仕事ができると感じました。

併願先との比較

民間企業や他の官公庁でも「環境」に関連した仕事はできます。しかし、民間企業は自社の利益を求めなければならぬ。地方自治体はその地域のことしか対象とできない。他省庁は「環境」という視点を第一とはしていない。これらが私の就職活動における、環境省と他の併願先との違いです。

最終的な決め手

「社会への影響力の大きさ」「対象とする規模や分野の広さ」「特定の地域や組織の利益にとらわれないこと」この3つが自分の希望に合致し、なおかつ他の仕事ではできることだと思ったからです。また、インターン等を通じて職場の雰囲気や人柄が自分と合いそうだと思ったことも大きな決め手です。

● 就活エピソード

私は研究に注力しすぎたせいで就活がおろそかになってしましましたが、環境省に行きたい気持ちはあったため最低限の準備はできていたのかなと、結果的には思います。でもきっとうまくいったからそう思うだけです。

Success !!

第一希望であった環境省に関しては、インターンや各種イベントを通じて、仕事内容や理念、雰囲気などの情報をできるだけ集め、自分の関心や希望と合わせてまとめておくことで、説明できるようになったような気がします。

Failure ...

もっと就活を楽しみ、自分の糧とすべきでした。就活ほど多くの業界・職種・会社・働き方をみて、社会人（しかも役職ある人も）の仕事への向き合い方や考え方を直接聞ける機会はなかなかないと思います。

● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

働く前に、この内定先でよかったですることは不可能だと思います。どれだけ頑張って第一希望に就職しても後悔して退職するかもしれません。反対に希望の会社でなくとも、そこに就職してよかったですと思えるかもしれません。私はそういう気持ちでいましたし、実際働いてみないとわかりません。だからあまり気負いすぎず、頑張っている自分を労いながら頑張ってください。これを読みに来たあなたは既に頑張っていると、私は思います。

NO.4 焦チズケ（23歳・男）

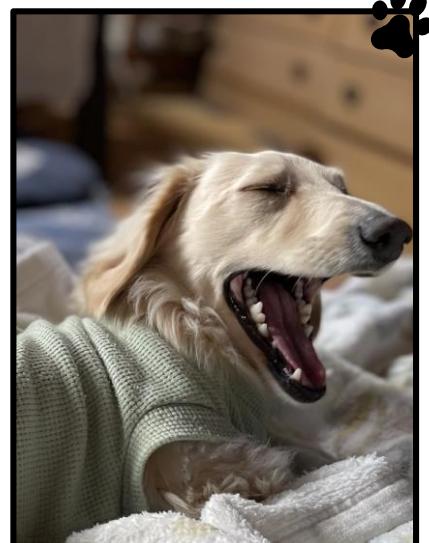
● プロフィール

試験区分	デジタル
大学所在地	東京都
学部/研究科	工学院
学科/専攻	情報通信系エンジニアリングデザインコース
研究内容	子育て支援拠点のスタッフの支援力向上にかかる研究
出身地	宮崎県
部活動/サークル	剣道（～中学）
趣味/特技	イラスト制作
好きなもの	コーヒー、FPS



● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	経済産業省
インターン参加先	なし



修士1年目

デジタル区分が独立して間もなかったため、試験内容を確認、あわよくば合格することを目指し公務員試験大卒のデジタル区分を受験。大学時の授業で得意だった分野がたまたま出題されており合格。

環境省の環境政策に興味があったため冬ごろから環境省の行う説明会に参加。曖昧であった環境政策への理解の助けになった。同時に他省庁の説明会も参加し、より環境省への思いを強めた。

修士2年目

研究の内容から文部科学省と直前になつて迷うも、最終的に環境省を第一志望に官庁訪問に進み、内定。

お菓子焼くのが
マイブーム

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

地元が宮崎県なものもあり、自然に囲まれて暮らしていたことから、環境問題に興味が湧いたのがそもそものきっかけです。大学で研究ではなく、技術の社会実装を大きなスケールで取り組みたいと考え公務員になろうと考えるようになりました。元々の環境問題への興味、説明会での職員さんの雰囲気が決め手となり環境省を志望しました。

併願先との比較

経済産業省でも分野によっては環境政策に携わることができるものの、環境に対する思いがきっかけなものもあり、他の分野にここまで心が惹かれませんでした。人間の活動の根底にあるそもそも地球環境を大事にしたいという自分の思いとずれている部分を感じました。

最終的な決め手

研究で現場に出て対象者にインタビューをする活動を繰り返したこともあり、環境省の現場主義が性に合うというか、経験が活かせるなど感じたのが決め手です。

● 就活エピソード

腕試しで早めに受けた国家総合職試験に運よく合格できたのもあり、現場主義に経験が活かせると自信を持って言えるまで研究に集中できたのが大きかったです。



Success !!

調査先への参与観察など地道に時間をかけないといけない研究だったため、周りが就活している間に、時間を研究に使えたのは非常に良かったと感じました。現場に出る経験を沢山したことが結果的に持ち味となつたのは非常に良かったと思います。

Failure ...

もう少し早くから説明会に参加していれば官庁訪問中により深いところの議論ができるのかなと思います。早く行動すればよかったです。



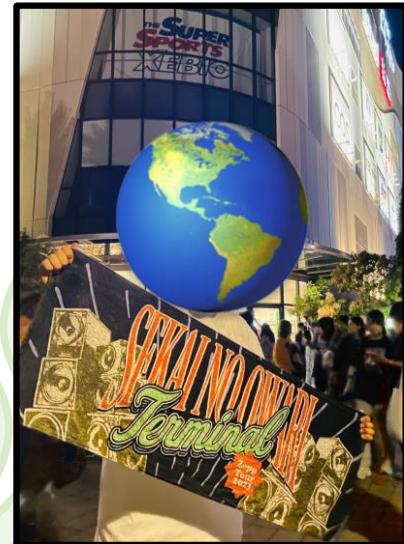
● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

自分のような研究や専攻が環境省と全く関わりのない人間でもなぜ環境省で働きたいか、環境省で活かせる自分の特技が何かをしっかりとアピールしていく内定につながるので、興味があるならぜひ挑戦してもらいたいです。官庁訪問前ももちろんですが、官庁訪問中にいかに吸収して成長できるかが大事だと思うのでぜひ頑張ってください。

NO.5 とんかつ（23歳・男）

● プロフィール

試験区分	化学・生物・薬学
大学所在地	東京都
学部/研究科	先進理工学研究科
学科/専攻	化学・生命化学専攻
研究内容	人工光合成実現に向けた光触媒の開発
出身地	群馬県
部活動/サークル	子ども会運営サークル
趣味/特技	NBA観戦、音楽を聞く
好きなもの	ウイスキー、とんかつ



● 就活事情

併願先(民間)	メーカー（研究職）
併願先(他省庁)	経済産業省、NEDO
インターン参加先	経済産業省、メーカー、プラントエンジニアリング

学部4年目

大学でCO₂関連の研究を始め、近しい就職先を探し始める。環境省と経済産業省に興味を持ち、公務員試験受験を決意。

修士1年目

総合職試験では、一次試験で落ちかかるも、二次試験で挽回してギリギリ合格。民間就活もスタート。

環境省と経済産業省の説明会に可能な限り参加。仕事に関して理解を深め、自分のやりたいことを明確化。

修士2年目

官庁訪問。緊張したが、成長実感のある1週間だった。



僕のウイスキーコレクションがこちら。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

CO₂関連の研究を始めた時に、もっと広い視点で環境問題に取り組めないか、という考えで、国という立場で俯瞰できる環境省に興味を持ちました。また、福島復興－除去土壤に関する説明会が私にとって大きな転機で、被災者と担当職員の話を聞く中で自分自身への責任感を強く感じ、志望度がより上がりました。

併願先との比較

経済産業省では幅広い産業分野の政策立案に関わることができ、環境や福島復興もその1つですが、それらはあくまで”国富の増大”を目指す経済政策の一環であり、環境はその手段であると私は感じました。一方環境省では、環境を軸として、人に寄り添った政策立案をできるという点で、魅力を感じました。

最終的な決め手

現場主義で、多方面のステークホルダーと謙虚な姿勢で関わる風土が自分にマッチしていると感じました。また環境政策や福島復興は、社会や人の考え方/気持ちのような温かみに関与してこそ成り立つと私は考えており、上述しましたが、人に寄り添う環境省なら、この価値観を大切にできると思ったのが決め手です。

● 就活エピソード

学部卒業と共に国家総合職試験を受け、1年後の官庁訪問に向けて準備する、というスケジュールのおかげで、環境全般に関して十分に理解を深められました。官庁訪問の有無に関わらず、自己成長に繋がった1年でした。

Success !!

環境基本計画や重点施策集で気になつた政策について、積極的に職員訪問を申し込み、直接お話を伺って理解を深めました。後々気付いたのですが、官庁訪問の原課面接はこれに近い形だったので、力になったと思います。

Failure ...

採用担当の方と面談できる機会で、なんとなくで行ってしまい、有意義に時間を使えなかつたことがありました。もったいないことをしました。

● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

国家公務員試験も官庁訪問も、受ける前は何もかも不安で仕方ないと思います。しかし、環境省や他団体のイベントに参加することで、自分の考え方ややりたいことが明確になって、自然と自信がわいてきます。ぜひ採用イベントや個別面談を有意義に使い、自分の成長に繋げていくといいと思います。あと、福島関連の採用イベントには絶対参加してほしいです。世界が変わります。

NO.6 えだまめ（22歳・女）

● プロフィール

試験区分	農業科学・水産
大学所在地	東京都
学部/研究科	海洋資源環境学部
学科/専攻	海洋環境科学科
研究内容	環境問題が海洋生物へ与える影響
出身地	神奈川県
部活動/サークル	シャチラボ、写真部
趣味/特技	旅行、全国の水族館巡り
好きなもの	海、鯨、チョウチョウウオ



● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	水産庁
インターン参加先	水産庁



学部3年目

夏頃から企業の合同説明会や国家公務員の説明会に参加し、将来自分がやりたいことについて考える。就活の軸等を定める。

2月頃国家公務員のインターンシップに参加。実際に働く場で様々なことを体験させていただき、公務員への志望度が高まる。

研究活動と両立しながら、就職活動に取り組む。面接対策や試験対策に力を注ぐ。

学部4年目

無事公務員試験に最終合格し、官庁訪問へ進む。水産庁と悩むも、最終的に環境省を選択し、内定。

片道24時間の島旅行に行ってきました！

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

小学生の頃経験した農村ホームステイ体験や高校で参加したサンゴを観察するプログラムなどから自然や環境問題に興味を持つようになりました。その後、大学での活動を通して、将来は環境に配慮した社会形成に貢献したいと決意しました。

併願先との比較

水産庁においても海洋環境への関わりがみられ、大学での専攻分野と重なり興味があったため、併願しました。どちらも業務分野には共通している部分もありますが、軸が環境とするのか、水産業の発展とするのかというところに違いがあると思います。

最終的な決め手

どちらも非常に魅力的で最後の最後まで本当に悩みました。扱う内容も共通している部分が多くあるなかで、どこに軸をおきたいのかを考え、環境に軸をおいて仕事をするために、環境省に行かせていただくことに決めました。

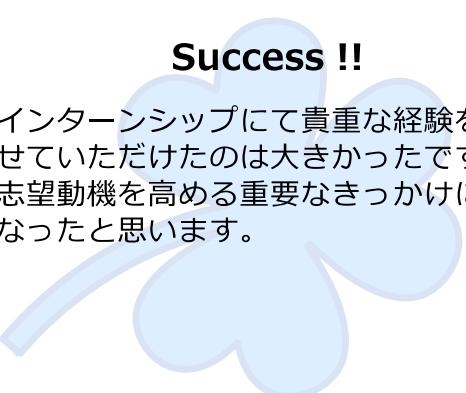
● 就活エピソード

研究との両立が特に大変でした。生き物を対象とする飼育実験であったため、就職活動にあわせて飼育・実験計画を組み、進められました。



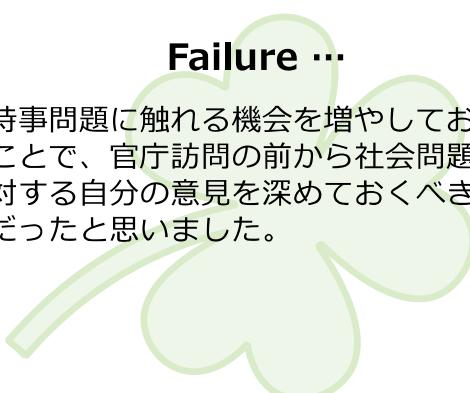
Success !!

インターンシップにて貴重な経験をさせていただけたのは大きかったです。志望動機を高める重要なきっかけになったと思います。



Failure ...

時事問題に触れる機会を増やしておくことで、官庁訪問の前から社会問題に対する自分の意見を深めておくべきだったと思いました。



● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

色々なことを積極的に体験してみることをおすすめします！思いも寄らない経験が自分の考えを変えるきっかけをくれたり、志望動機につながったりします。官庁訪問中も面接とはいえ、多くの学びの場であり、たくさんの気づきを得ることができます。それらを味わいながら楽しんで頑張って下さい！心より応援しています！！

NO.7 な (29歳・女)

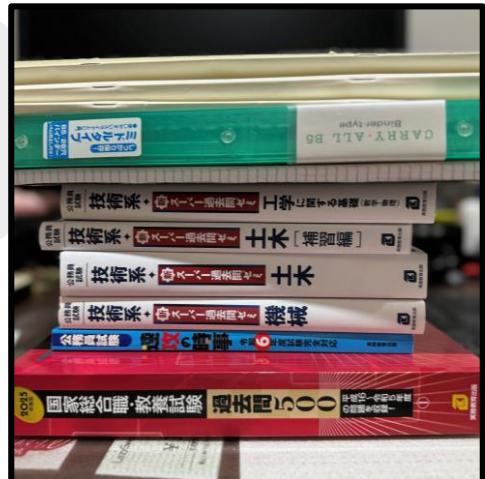
● プロフィール

試験区分	工学
大学所在地	北海道
学部/研究科	工学院
学科/専攻	環境創生工学専攻
研究内容	産業廃棄物処理事業のLCA評価
出身地	東京都
部活動/サークル	寮自治
趣味/特技	飲酒・ラジオ／すぐ眠れる
好きなもの	猫・Perfume・カレー



● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	原子力規制庁
インターン参加先	なし



修士2年目

研究分野に関連して、技術力をもって変わりゆく日本的情勢にあわせた廃棄物処分の在り方を提案したいと考え、ごみ焼却処理施設のプラントエンジニアリング会社を受け、入社。

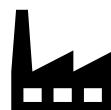
社会人5年目

この仕事を一生続けるのか疑問を感じるようになる。

国家公務員の大学同期と飲んだときに転職の相談をしたところ、国家公務員を勧められる。新卒区分で受験できる最後の年なのでチャレンジしてみるかと一念発起。

社会人6年目

試験に合格し、官庁訪問でも内定をいただく。



公務員試験に使用した教材のすべてです。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

大学時代～現職でも環境分野に携わっているため、もともと興味はありました。現職で資源循環の仕組みづくりを検討したこと、いち民間企業が資源循環の仕組みを作ることの難しさを痛感し、産業全体を巻き込むことができる国に興味を持ちました。

併願先との比較

現職のプラントエンジニアリングの素養が直接役立つのではないかと思って原子力規制庁を併願しました。一つの志から環境省と原子力規制庁を併願したのではなく、やりたいことがそれぞれあって併願したという形でした。

最終的な決め手

もともと環境省が第一希望だったので、それが揺らぐことはありませんでした。官庁訪問を通して、環境を守ることを土台にして、持続可能な社会の構築に携わりたいという思いが強くなりました。

● 就活エピソード

現職の仕事もあったので、体力・気力ともに無理せず最低限何をするべきか考えて取り組んだことが良い結果に繋がったと思います。

Success !!

文部科学省も併願しようとしていましたが、体力的にも志望動機の説明のしやすさとしても不利になると判断し、説明会参加回数が環境省よりも多かつたのに潔く諦めました。いい判断だったと思います。

Failure ...

勘違いして覚えていた知識があり、官庁訪問でそこを突っ込まれてドキッとしました。間違いは誰しもあるので、どうリカバリーするかが大切ですね。

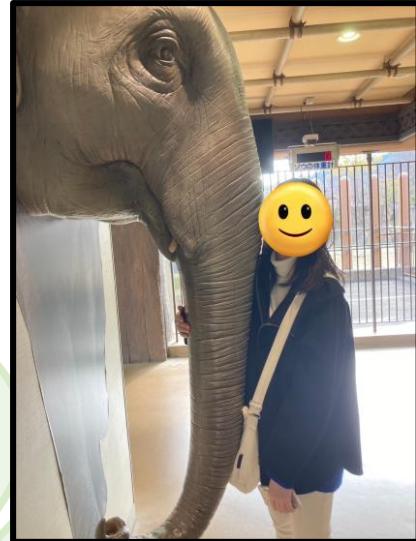
● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

私は社会人経験を経てから公務員試験を受けました。一見寄り道をしているようですが、私の場合は社会人を経験していないから環境省の内定はいただけていなかったと思います。官庁訪問には、現職を通じて環境分野や国に対して思っていたことを直接職員の方に聞いてみよう！という気持ちで臨み、官庁訪問自体を楽しむことができました。学生でも社会人でも、これまでの経験は何一つ無駄ではなくて、それがいまの自分をつくっています。いつからでもチャレンジできると思っていただけたら嬉しいです。

NO.8 はなしろ（22歳・女）

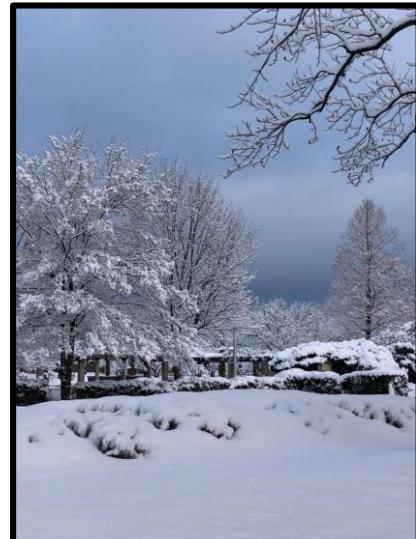
● プロフィール

試験区分	農業科学・水産
大学所在地	新潟県
学部/研究科	農学部
学科/専攻	農学科応用生命科学プログラム
研究内容	土壤プラスチック圈の微生物群集
出身地	新潟県
部活動/サークル	弓道部
趣味/特技	ハンドメイド
好きなもの	コーヒー、こたつ



● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	農林水産省、新潟県庁
インターン参加先	県農業総合研究所



学部3年目

6月 漠然と公務員を目指して対策を始めた。
11月 「チャレンジしてみよう」という気持ちで国総に合格することを目標に対策を始めた。
2月 説明会に参加し、プラスチック循環に興味を持ったため環境省を目指すことを決めた。

学部4年目

筆記試験や面接対策に集中し、無事総合職試験に最終合格。研究と就活でかなり忙しかった。県庁からも内々定をいただいた。
農林水産省と少し迷ったが環境省を選択し、内定。



新潟の雪景色です。なんだかんだで毎年1回は滑って転びます。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

土壤プラスチックについての研究を進める中で、海洋プラスチックの原因の約8割は陸由来ということを知り、プラスチックの循環に興味を持ちました。プラスチック全般の政策について調べたところ、環境省であれば削減や再利用、規制等幅広い視点から政策に携わることができると知り、志望しました。

併願先との比較

農林水産分野でのプラスチック削減に興味を持ち農林水産省を併願しました。自分が農学部だったため共感できる部分も多くあり、現場に近いところで政策を実行できる点が魅力だと感じました。環境省との主な違いは、環境中心か農業中心かだと思います。

最終的な決め手

「より環境汚染問題に取り組めるのはどちらか」「やりたい政策以外で自分が興味持てるのはどちらの省庁の政策か」を考え環境省に決めました。官庁訪問で職員の方々と話したことで、自分の興味がある分野が明確になりました。環境省の雰囲気が自分に合っていると感じたことも選んだ理由の1つです。

● 就活エピソード

はじめは就活への不安が大きかったです、日々コツコツと対策をしたことで自信を持って臨むことができました。勉強に行き詰った時は思いっきり遊ぶことでモチベーションを保っていました。

Success !!

公務員試験一本に絞って就活をしていましたので、対策に集中できたのは良かったです。県庁の試験はSPIだったので、公務員試験の問題対策で応用できました。

Failure ...

地方住まいのため厳しかった面もありますが、一度は対面で説明会に参加するべきでした。また、説明会毎に自分の意見をまとめておいた方が、政策への理解度が上がったなと思いました。

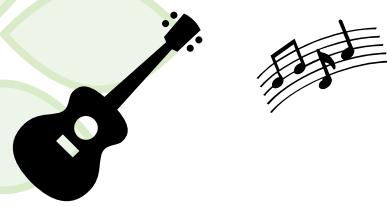
● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

官庁訪問は採用面接の場ですが、省庁と自分の相性を確かめるマッチングの場もあります。官庁訪問で面接を担当する職員の方々は、将来自分の上司になるかもしれない人です。面接の際は、ぜひ会話を楽しんでみてください。就活中は辛いことが多いと思いますが、「なぜ環境省を目指しているのか」を思い出してみると、考えを整理できると思います。皆さんのが自分の納得いく結果を掴めるよう、応援しています。

NO.9 スケトウダラ（25歳・男）

● プロフィール

試験区分	農業科学・水産
大学所在地	北海道
学部/研究科	水産科学院
学科/専攻	海洋生物資源科学専攻
研究内容	北海道周辺の海洋環境がスケトウダラの分布に与える影響評価
出身地	長野県
部活動/サークル	トライアスロン部
趣味/特技	釣り、ギター
好きなもの	ラーメン、サウナ



● 就活事情

併願先(民間)	環境アセスメント業界、エネルギー業界、水産業界
併願先(他省庁)	経済産業省、水産庁、JOGMEC、水産研究教育機構
インターン参加先	なし



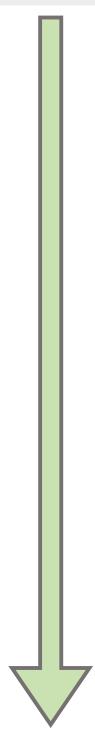
修士2年目

国家スケールの仕事ができる国家公務員の仕事に魅力を感じ、10月ごろから受験勉強を開始。課外活動も忙しかったため、半年留年することを選択。
試験勉強に集中しつつ、2月頃から民間にもエントリー。

修士3年目

無事に総合職試験合格。6月上旬ごろにはエントリーした民間も内々定をいただいた。
水産庁と迷うも、環境省を選択。経産省は途中で不合格。

東京のラーメン
最高！



● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

再生可能エネルギーにもともと興味を持っており、環境系やエネルギー系の会社を検討していました。官庁訪問を通して環境省は地球にやさしい持続的な社会を作ろうとしている、という印象を受けたので興味を持つようになりました。

併願先との比較

経済産業省は産業の発展を重視しており、アグレッシブな人材が多い印象でした。一方で環境省は産業のみならず環境も含めた持続性を重視しており、穏やかな人材が多い印象でした。水産庁は海洋生物を資源として考えており重要な水産魚種に焦点を当てた政策を行う一方で、環境省は海洋生態系全体を保護する政策を行っている印象でした。

最終的な決め手

国家スケールの政策の企画・立案に積極的に携われる国家総合職という仕事に魅力を感じたこと、環境省が掲げる循環経済という考え方方が自分の思想とマッチしたこと、環境省の職員数は他省庁と比較して少数で、風通しが良い職場であることです。

● 就活エピソード

将来への不安は抱えながらも、一生懸命、楽しみながら就活を終えることができました。試験勉強、民間の面接、官庁訪問など、様々な重要なイベントを通して大きく成長できたと感じています。

Success !!

民間企業を5つほどエントリーしたことです。官庁訪問前に面接があったので、いい練習になりました。

Failure ...

学部時代に国家公務員試験を受験しなかったことです。受験と民間の面接が重なり、かなり大変だったので学部生のうちに受験しておくことをお勧めします。

● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

国家公務員を目指すのは大変そうだと半ば諦めかけてしまう方も少なくないかもしれません、少しでも国家公務員が自分の目指したい姿なのであればぜひチャレンジしてみてください！目標に向かって頑張ったり、説明会や官庁訪問に参加したりと、公務員を目指したからこそ得られた新たな気づきや達成感がたくさんあります！それらを味わいながら、楽しんで前向きに頑張ってください！楽しむことが合格、内定への近道だと感じます。応援しています！！

NO.10 青色のえび（22歳・女）

● プロフィール

試験区分	農業科学・水産
大学所在地	東京都
学部/研究科	海洋資源環境学部
学科/専攻	海洋環境科学科
研究内容	ミドリイガイの摂餌に関する研究
出身地	東京都
部活動/サークル	学内博物館ボランティア
趣味/特技	貝殻集め、古着屋巡り
好きなもの	A.B.C-Z、貝、メガネ



● 就活事情

併願先(民間)	IT企業
併願先(他省庁)	水産庁、東京都庁
インターン参加先	なし



学部2年目

秋頃から進路について考え始め、合同企業説明会等に参加。2月に公務研究セミナーに参加。国家公務員としての働き方に魅力を感じ、公務員志望に。

学部3年目

3~11月は講義や実習等に追われ、就活や公務員試験対策にはあまり時間を使えなかった。隙間時間で企業説明会に参加したり、数的処理の勉強をしたりしていた。

11月末から公務員試験の勉強を本格的に開始。

学部4年目

総合職試験に最終合格し、官庁訪問を経て環境省から内定をいただく。



大好きな湘南の海です！研究も江ノ島で行っています。

● 環境省を志望した理由

興味を持ったきっかけ

大学で様々な観点から海洋について学ぶうちに、海洋プラスチック問題や外来種の移入、気候変動に伴う海洋酸性化や海水温上昇等の環境問題に興味を持つようになり、これらの問題解決につながる仕事がしたいと考えるようになったのがきっかけです。

併願先との比較

水産系の大学に通っており水産資源管理に強い関心があったこと、大学の先輩方が多くいらっしゃること等から最初は水産庁が第一志望でした。海洋プラスチック問題など共通する政策分野も多い省庁ですが、水産庁は水産業に対するアプローチに特化している点が大きな違いであると感じました。

最終的な決め手

環境省は1つの問題に対して多様な側面からアプローチできるところが魅力だと感じました。大学の専攻は水産でしたが、水産以外の分野も学んでみたいという思いがあったので、環境を軸により広い範囲で様々なことに取り組むことのできる環境省を選択しました。

● 就活エピソード

焦りを感じる時期もありましたが、基本的にはマイペースに就活を進めていました。「他人と比べず自分のペースや価値観を大事にすること」、「ストレスをためすぎないこと」の2つを大切に取り組みました。

Success !!

公務員試験に落ちてしまったときのことを考え、民間就活も行っていました。民間就活はオファー型の就活サイトを活用することで効率的に行い、なるべく多くの時間を公務員試験対策に使えるよう工夫しました。

Failure ...

志望動機をブラッシュアップするためにも、自分が視野にいれている省庁以外の説明会などにもっと積極的に参加しておけばよかったなと思いました。

● 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

複数の試験や面接、官庁訪問で疲れてしまうときもあるかと思いますが、なぜ国家公務員になりたいか、なぜ環境省で働きたいかをしっかりと持って粘り強く取り組めばきっと道は開けます。気分転換もはさみつつ、自分のペースで最後まで頑張ってください。応援しております！